

置き配荷物検知器用[KITA-40] IFTTT アプレット 制作方法

第2版 250324

概要

置き配荷物検知器[KITA-40]を「外部ネットワーク接続通知モード」で使用するには、IFTTT(IFT)のアカウントを作成し、IFTTT上でアプレット(レシピ)を制作して基板に連携設定をする必要があります。また、**2025.03現在、当通知に必要な「webhooks」が有料版[PRO]でのみ使用可能となっております、有料版[PRO]への登録が必須(要クレジットカード)となっております。**

2025.03.31「LINE」の「IFTTT」連携サービスの廃止に伴い通知方法をメール通知に変更いたしました。
通知先はIFTTTの登録メールアドレスとなります。
ワンタイムメールなど一部登録できないものがありますのでご注意ください。

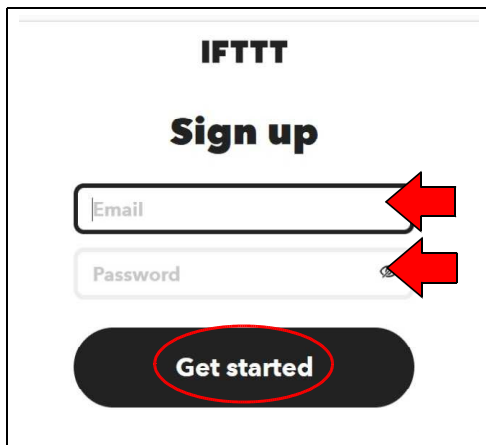
IFTTT登録、アプレット作成は本紙の記事を参考にして制作を進めてください。

**「IFTTT」は弊社のサービスではありません。
サービス内容についてお問い合わせをいただいても弊社では、ご回答できません。**

**当説明書記載の内容は2025年3月現在のものです。
閲覧時に、IFTTTのWEBページの表記内容、利用料金体系が変更されている場合がありますのでご注意ください。**

●新規でアカウントを作成する場合

「メールアドレス」が必要です。
IFTTTに登録するメールアドレスを用意してください。
置き配検知の通知先となります。
※ワンタイムメールなど一部登録できない場合があります。



The image shows the IFTTT sign-up page. It features a text input field for 'Email' and another for 'Password', both with red arrows pointing to them. Below the fields is a large black button with the text 'Get started' in white, which is circled in red.

「Email」に登録するメールアドレスを
「Password」に自分で決めたパスワードをそれぞれ入力してください。

パスワードはIFTTTのログイン時に必要になるものですので登録したものを忘れないようにしてください。

最後に「Get started」をクリックすればアカウント製作完了です。

■IFTTT(IFT)への登録(アカウント作成)

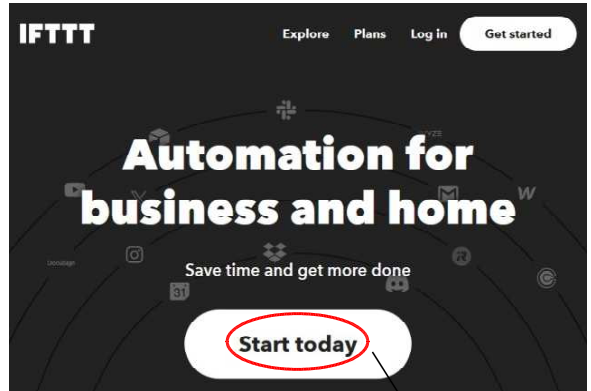
IFTTTを使用するにはまずアカウントの作成が必要です。

まず、パソコン、携帯端末などで、下記の「IFTTT」のページを開いてください。

<https://ifttt.com/>



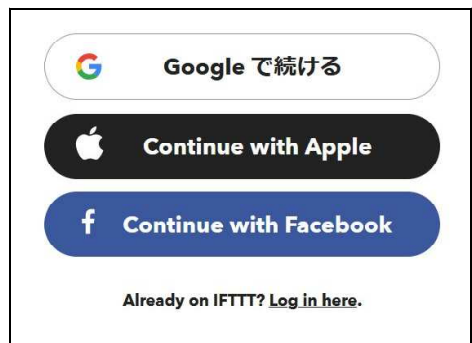
海外のページなので表記はすべて英文です。
(日本語訳のページはありません)



新規でアカウントを作る場合は
「Start today」を
クリック「Sign up」へ

●別の既存アカウントを使用して作成する場合

Sign up から下にスクロールすると下記のように表示されます。
使用する各社のアカウントの箇所をクリックしてください。



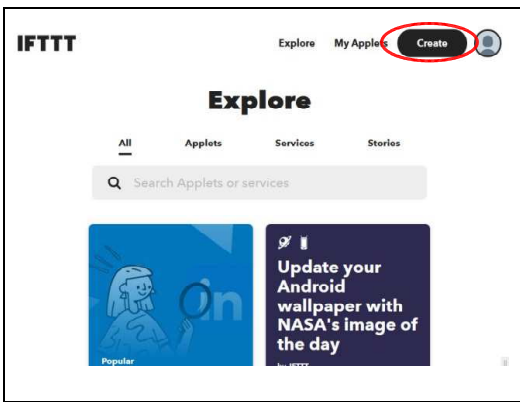
各社のアカウントのログインが即されますので表示画面の指示通りに入力して進めてください。

右図は「Google」の場合



■ アプレット(レシピ)の作成

ログイン後、アプレットの製作が可能な状態になります。



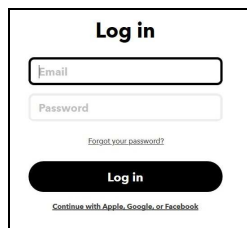
右上の「Create」を押すとアプレット製作を開始できます。

有料版[PRO]の登録はアプレット作成後に行います。

●再ログイン

IFTTTからログアウトしてしまった場合は、製作したアカウントを使って再度ログインしてください。

「Email」の箇所に登録したメールアドレスを「Password」の箇所に登録したパスワードを入力して「Log in」をクリックしてください。

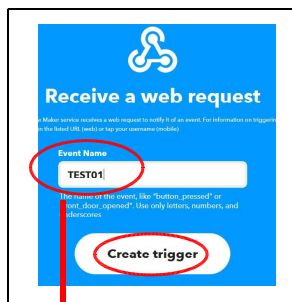


「Event Name」の箇所にイベント名「TEST01」と入力します。

この箇所は英数半角文字であれば設定できますが、KITA-40の通知設定として使用する場合はこの部分とKITA-40の「IFTTT設定」の

「IFTTT Event:」に設定する名前を同じにする必要があります。

「Event Name」を記入後、最後に「Create trigger」を押してください。



同一名



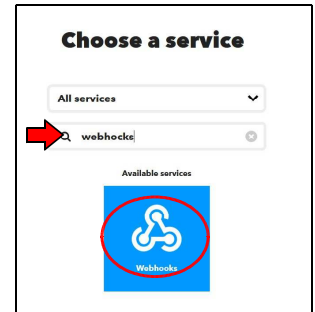
Webhooksの設定はこれで完了です。

●「Webhooks」サービスの設定

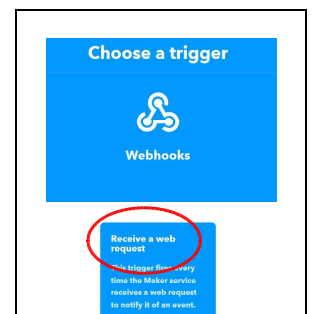
If This の「Add」をクリックしてください。



「Choose a service」と連携するサービスの選択画面が表示されますので、検索枠の箇所に「webhooks」と入力すると自動的に抽出されるので表示された「Webhooks」をクリックしてください。



「Receive a web request」と表示されている箇所をクリックします



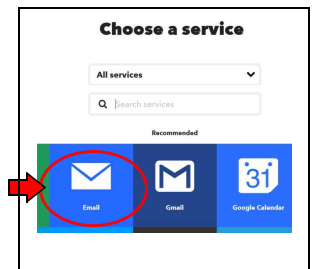
●「メール送信」サービスの設定

Then That の「Add」をクリックしてください。

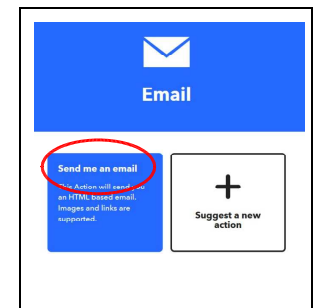


「Choose a service」と連携するサービスの選択画面が表示されますので、

「Email」をクリックしてください。



「Send me an email」と表示されている箇所をクリックします



メールの初期設定の内容は右記のようになっています。

Subject
はメールの表題となります。

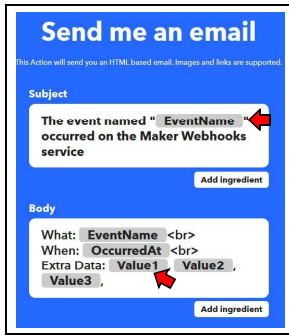
“EventName”の所には前項でセットした名前[TEST01]が代入され表示されます。

そのままでも使用できますが、ここには日本語を入力できるので

「置き記検知」と書き換えるとわかりやすくなります。

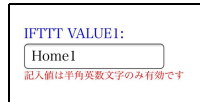
Body
はメールの本文となります。そのままでも使用できますが自分で分かりやすいメッセージに書き換えてもかまいません。

最後に、「Create action」をクリックしてください。

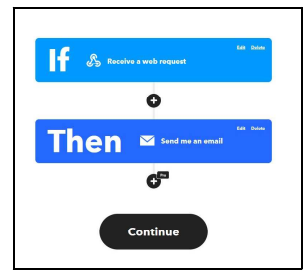


※Value1設定について
KITA-40 IFTTT設定から“Value1”のみ設定が可能です。“Value1”の詳細については、KITA-40の付属の説明書[P7]を参照ください。

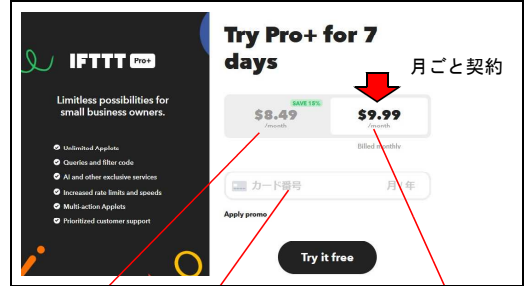
Webhooksから転送される“Value1”の値は半角英数字のみ有効です。(全角文字はエラーになります)また空白を入力した場合は以降の文字が削除されますのでご注意ください。



右図の画面から、「Continue」で「PRO」登録画面が表示されます。[2025.03 現在の画面です]



年ごとと契約が初期値になっていますので注意してください。月額費は高くなりますが、まずは月ごとの契約でお試することをオススメします。



年ごとの契約 カード番号入力 月ごとの契約

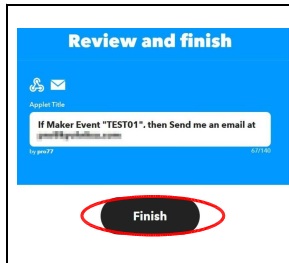
- ・年ごと、月ごとの契約を選択
- ・カード番号/期限 /セキュリティコードの入力

利用形態、利用料金等は変更される場合があります。よくご確認の上、契約いただきますようお願いいたします。参照URL <https://ifttt.com/plans>
2025.03現在 [Free][Pro][Pro+]の3種のプランがありますが当機の機能は[Pro]で使用可能です。

最後に「Try it free」を押してください。

登録後、最後に「Finish」を押してください。これでアプレットの作成は完了です。

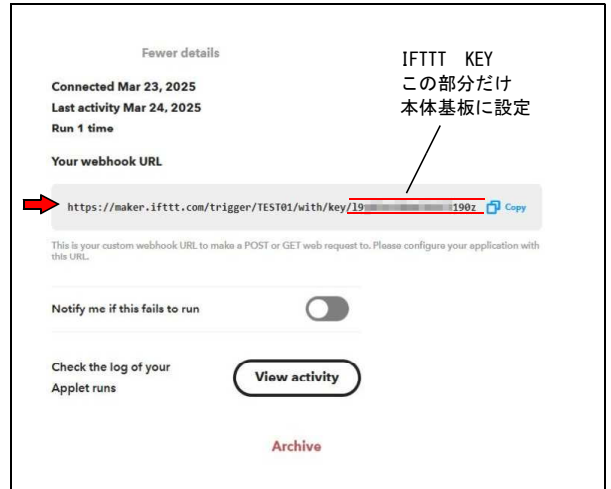
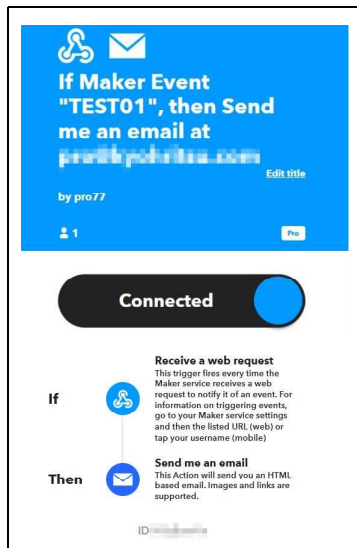
※「Finish」をクリックするまで作成したアプレットは保存されません。必ず「Finish」をクリックしてください。



初期値は「Connected」でアプレットの機能有効から始まりますので何もなくても動作します。

青い丸が右に来ていないときはクリックして右に来るようにセットしてください。

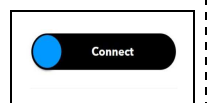
下にスクロールするとYour webhook URLという箇所があるので、「~KEY/」より下の部分を本体基板のIFTTT設定の「IFTTT KEY」にセットしてください。



※作成したアプレットを消したいときは「Archive」をクリックすると「記録保管場所」に格納されます。(後ほど復帰させることも可能です)

アプレット完成後は商品添付の説明書P6に戻って「IFTTT EVENT」「IFTTT KEY」を機器本体に設定してください。

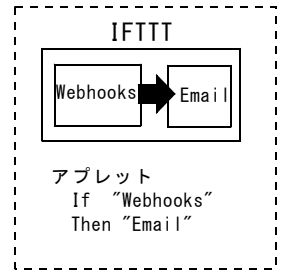
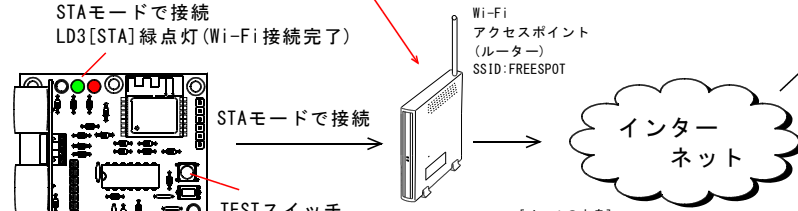
図のように「Connect」となり青丸印が左にある場合は「未接続」状態となりアプレットは停止状態で使えなくなっているのでクリックして「Connected」になるように変更してください。



■外部ネットワーク接続 (IFTTT) 通知モード 全体の構成

IFTTT設定の詳細は「KITA-40 説明書本紙 P5-7」を参照ください。

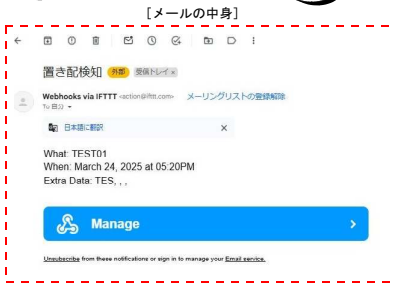
外部ネットワーク(インターネット)に接続するWi-Fiアクセスポイントの設定を「KITA-40 Wi-Fi設定」で行います。



ネットに接続した状態で押すことで荷物を検知したときと同じ動作をします。

例はアクセスポイントのSSIDが「FREESPOT」という名前の場合です。ここは使用する機器に合わせて記載してください。

メールが送信されるかこのスイッチでテストしてください。



例の設定の場合
差出 Webhooks via IFTTT
表題 置き配検知 ... IFTTTのアプレットで変更可
本文 What: TEST01 ... IFTTTのアプレットで変更可

※IFTTTは過度なアラートを防ぐため連続で送信できない仕様となっています。リクエスト間隔は数分間(約2分以上)程度、空けて行ってください。



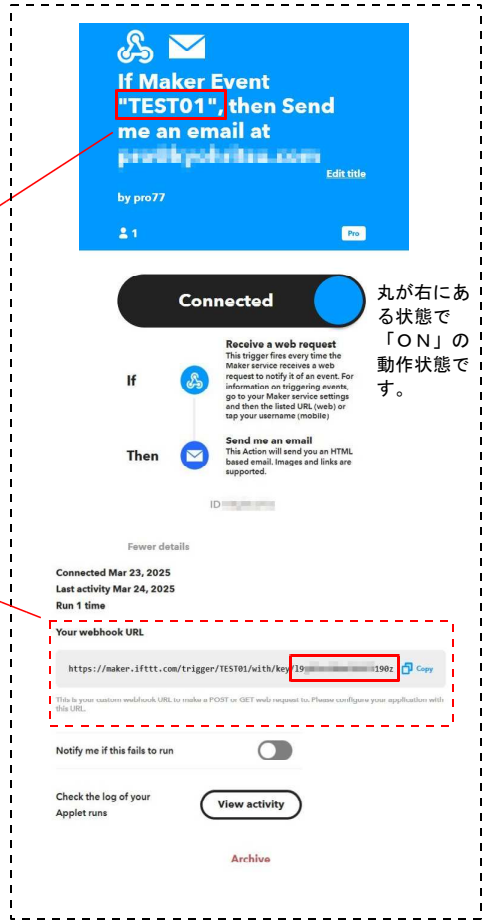
アプレットと同じイベント名にして、Keyコードを正しく入力しないと動作しません。

メール本文の内容に反映するときには使用します。

通常は何も書かなくても問題ありません
全角文字を入れるとエラーで送信できなくなります。



~key/19xxxxxxxxxxxxxxxx190z
key/より下の部分
19xxxxxxxxxxxxxxxx190z のみ抜き取ります



丸が右にある状態で「ON」の動作状態です。

キーのコードを記入

イベント名を記入



Copyを押すと1行すべてがクリップボードにコピーされます